

# 多くの遺跡・史跡、森林や農地・河川などを生かした 高槻らしい“街づくり”をすすめてみましょう

## 総合計画とは…

おおむね 10 年間の行政運営の総合的な指針となる計画。1969年の地方自治法改正により、策定が地方自治体に義務付けられました。

基本構想は、自治体のめざす将来像と目標を明らかにするもので、議会で審議されます。

## 今後の策定スケジュール

2009年12月	審議会設置の条例策定 年度内に審議がスタート。
2010年	秋頃には素案をまとめ、 その後市民から意見を 聴取。

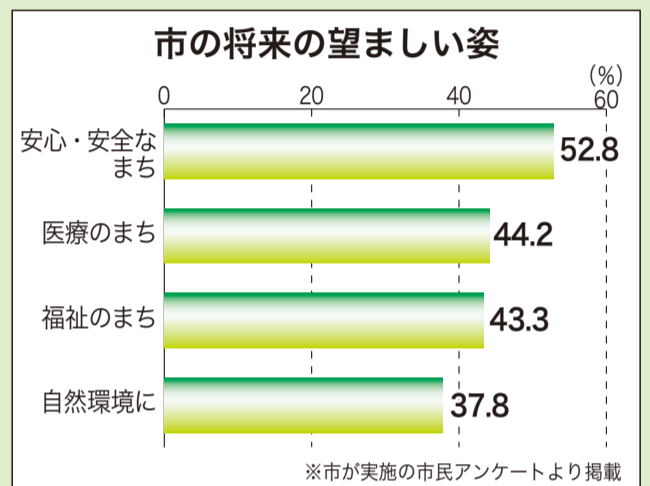
## 新名神(第2名神)推進をやめ、高槻の良さを生かせ

新名神(第2名神)とその関連道路、南平台日吉台線、(仮称)高槻東道路、十三高槻線、原成合線の建設・延伸の計画がすすめられています。新名神も含めて関連道路が通過する地域の多くは田園風景が残されている調整区域です。

現状の農地や自然を守り、まちづくりに取り組むのかが問われます。

高槻には、安満遺跡、今城塚古墳、鬮鶏山(つげやま)古墳など多くの遺跡があります。それを生かした取り組みも必要です。

また、農地はこの10年間で66.2ヘクタール(甲子園球場約17個分)も減少。その保全は急務で地産地消を進めながら、価格保障などの実施を検討する時期にきています。市の半分を占める森林を保全し、間伐材の利用を促進するなどの取り組みをすすめることが大事になっています。



## みなさんといっしょに 実現することができました

### 休日保育や産後ヘルパー派遣など 子育て支援策が充実

国の緊急雇用施策を活用して、日・祝日も仕事の保護者への休日保育(2ヶ所)や第2子の出産直後などの大変な時期にヘルパーを派遣します。

### 新型インフルエンザ対応で福祉・介護施設への休所補償や保育料を返還

新型インフルエンザで休所した障害者作業所や高齢者デイサービスセンターへの補償や、保育所保育料を返還。また、感染防止のため空気清浄機を保育所や幼稚園などに設置の予定です。

### 小中学校の校舎耐震化や 戸建て住宅の耐震化を促進

学校体育館の耐震化に続き、校舎耐震化の計画に着手。今年度より八中校舎の耐震化工事が始まります。また、戸建て住宅の耐震工事補助の条件を緩和しました。

### 国保料値上げストップ 介護保険料値下げ・市独自減免の実施

後期高齢者医療の影響で一気に赤字の国保会計。しかし、くらしを考え値上げをストップ。また、介護保険会計の黒字分を使い保険料を値下げ。くり返し要求してきた市独自減免制度もスタートしました。

### 他にもこんなことが…

- 就学前の障害児が通う市立施設の体制を充実、小中学校の支援学級に支援員増員。
- 妊婦健診補助を5回から14回へ拡充。府外受診も対象に。
- JR富田駅エレベータ設置、富田村踏切の拡幅。



こんなことは  
キッパリ反対  
改善や終了を  
求めています



### ●高齢者住宅改造補助 年間約1400万円の廃止に反対

段差解消など介護予防に役立ち、住民税非課税の場合、最大80万円を補助。まだ必要な制度なのに民主、自民、公明などが廃止に賛成。日本共産党は反対しました。

### ●税金のムダづかい正し、 積極的提案や改善を要求

関西大学開校への支援策や入札制度改善など厳しく追及。基金(貯金)活用でのくらし応援、借金の早期償還での金利負担軽減などを求めています。

### ●名実とも同和事業を終ることが 「差別解消の早道」と主張

かつてのような同和事業や特別な個人給付などはやめさせました。しかし、「差別がある限り同和行政は必要」という立場では、差別解消に逆行するだけです。